



# ひらどだい

令和3年度 学校だより 4月号 横浜市立平戸台小学校学校長 藤巻 孝之



## 225の<sup>チャ</sup>cha-<sup>チャ</sup>cha-<sup>チャ</sup>cha

校長 藤巻 孝之

早咲きとなった桜は若葉を蓄え始めています。この時期は満開の桜に囲まれて…と願ってしましますが、新緑は次の花を咲かせるための始まり、次代へのつながりを象徴しているかのようでエネルギーを感じることができます。

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。令和3年度は43名の新1年生を迎え、全校児童225名でのスタートとなりました。今年度も「元気が一番」で「心をつなぎ笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子」の実現に向けて、子どもたちにとって「楽しい学校」「居心地のいい学校」そして「保護者、地域とともにある学校」づくりを目指していきます。

さて、昨年度末にご紹介した合言葉「ひらりん cha-cha-cha」は少しずつではありますが広がりを見せています。例えば…

メダカ池（仮称）の脇に造形砂場があります。造形砂場は公園にある砂場と同じで、子どもたちが山をつくったり、穴を掘ったりして遊ぶ場所です。しかし、子どもたちは学校での砂遊びに興味を示しません。風雨にさらされたうえ踏み固められた砂場は、気が付けばカチカチに…ということも珍しいことではありません。そこで昨年度のある日、たくさんのシャベルやカップをかごに入れて置いてみました。すると低学年の子どもたちが自然と集まってきたのです。大きな山をつくって「トンネルできた!」と喜んだり、大きな穴を掘って「落とし穴!」と言いながら自ら穴に入ったりと大はしゃぎです。子どもたちの会話は弾み、笑顔があふれ、次々と遊び方を工夫し始めます。しばらくすると高学年の子どもたちが合流し、交流を広げていきました。気が付けば造形砂場は常に子どもたちが集う、遊びながら友達とかかわったり、自分の思いを伝えたりする学びの場の一つになりました。

「ひらりん cha-cha-cha」は、子どもたちがのびのびと自分らしさを発揮することができるように「学びの chance を生かし」「自分の可能性に challenge することで」「自信や元気を charge する」ことを目指すための合言葉です。一方、学校は

「子どもたちの学びの chance を生み出し」

「子どもたちの challenge を促し、応援しながら」

「子どもたちの自信や元気の charge をサポートする」

ことを具体的な取組目標として実践していきます。ちょっとしたスイッチや仕掛けを用意することで cha-cha-cha は動き始めます。

令和3年度、平戸台小学校は保護者の皆様や地域の方々のご支援、お力添えをいただきながら、225の cha-cha-cha を目指して教育活動を展開いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

